

認知症看護研修会（南予・東予）を開催しました

研修会名：認知症看護研修会（東予・南予）

開催日時：＜南予＞令和元年7月6・7日（土・日）

＜東予＞令和元年7月27・28日（土・日）

1日目 9:30～15:40／2日目 9:30～16:10

講師名：愛媛大学大学院医学系研究科 教授 谷向 知

認知症看護認定看護師

＜南予＞浅見千代美・大岡奈穂子・白石澄恵・松田智江

＜東予＞福島真紀・渡部昭子・柏潤耶・石川和美・真鍋光子

場 所：＜南予＞市立宇和島病院／＜東予＞住友別子病院

参加者数：＜南予＞ 71名／＜東予＞ 62名

＜目的＞

1. 認知症看護に必要な知識・技術を深め、認知症の人へのケアの質向上を図る。
2. 認知症の人が地域で安心して暮らせる連携体制を学ぶ。

＜内容＞

認知症の原因疾患・病態・治療・予防、認知症の症状とせん妄に対する看護、認知症の人とのコミュニケーション、認知症に関する法制度と連携体制、認知症の人の療養環境とアセスメントの視点、介護家族の支援、認知症の人の意思決定と倫理、事例検討

＜アンケート結果＞

- ・各講義の理解度は、90%以上が「理解できた」「まあまあできた」と回答。
- ・活用度は、約95%が「活用できる」「活用できると思う」と回答。

＜振り返り＞

事例検討は、活発の意見交換ができていた。しかし今年度の事例「レビー小体型認知症の人」は難しく、疾患の特徴等に関連づけるのに苦慮する場面もあった。

認知症看護に必要な倫理、疾病、コミュニケーション等、土台になるものを学び、良いところは取り入れたいという意見があり、認知症看護の向上につながる研修であった。